

## いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

### ■ 妊産婦等外出支援事業

【新規】 208 千円

妊産婦及び乳児同伴での外出にハイヤーチケットを交付し外出や保護者同士の交流を促すことで安心して子育てしていただく環境の向上を図ります。

### ■ 地域資源を活用した健康ブラ

ンド事業【新規】 5,000 千円

地域の健康課題を解決するため地方創生包括連携協定を結ぶ(株)カネカと連携し、健康に良いとされる「トマト・温泉」といった身近な地域資源を活用した「健康へのアプローチ」づくりに取り組みます。

### ■ 保育士就業支援助成事業

【新規】 350 千円

町内の保育施設に新たに就職される方に助成を行うことで町内就業を促し、安心して子育ていただける保育環境の向上を図ります。



### ■ 介護従事者就業支援助成

【新規】 600 千円

町内の介護施設に新たに就職される方に助成を行うことにより介護職員を確保し、安心して住み続けられるよう介護環境の向上を図ります。

### ■ 禁煙外来費用助成事業【新規】

200 千円

喫煙のリスクを認識し禁煙に取り組む方に助成を行い、疾病の予防、健康意識の向上を図ります。

## にぎわいのあるまちづくり〔商工業の振興〕

### ■ 歩いて健康・食べて発見・巡って にぎわい創出事業【拡充】 3,502 千円

商業拠点施設である「まちなかほっとタウン」と医療・健康の拠点施設である「暮らしの安心センター」をメイン会場に町内各施設を巡る「ウォーキングイベント」や「にぎわいイベント」を開催し、まち全体に新たな人の流れを生み、にぎわいや潤い、活力を創出し地域内外の交流人口の増加を図ります。

### ■ 賑わい活動拠点整備推進事業 【新規】 314 千円

店舗開設希望者等による起業に向けた活動を行う場所（チャレンジショップ・シェアキッチン・コミュニティレストラン等）の整備を含め中心市街地の振興発展、賑わいによる商店街の活性化を図るため、商工会と一体となり検討を行います。

# 令和2年度予算

# 主要事業 ①

## にぎわいのあるまちづくり〔農業の振興〕

### ■新農業対策室の継続設置【新時代農業への取り組み】4,586千円

新時代の沼田農業スタイルの確立に向け、中山間地域におけるスマート農業の推進、担い手の確保に向けた農業振興公社の設立などを重点事項として掲げており、まずは設立に至った沼田町スマート農業研究会との連携によりスマート農業技術の選択に向けた実証試験に取り組み、普及促進を図ります。

### ■災害対応・現場管理システム導入事業【新規】2,662千円

災害発生時には、被災状況を早期に把握する必要があることから、GIS（地理情報システム）を活用し被災農地の正確な位置及び被災状況を把握することにより早期に農地復旧を図る体制を整えます。併せて、被災状況をドローン等により空撮し詳細な状況把握を速やかに行えるよう災害時等支援協定を締結いたします。

### ■農福連携事業 416千円

高齢者や障がい者の社会参加や地域貢献を進めることで、地域活性化と高齢者・障がい者の自信や生きがいを創出し社会参加を促すため町内福祉施設及び障がい者事業所と連携し農福連携事業の実証を行います。



### ■農業所得向上対策事業 7,866千円

水稲との複合経営を推進するため「園芸ハウス更新・増棟支援事業」にJA北いぶきと連携し取り組むとともに、「新規作物等導入・雪中ブランドづくり」支援を実施し多様な作物の導入による経営の高度化、法人化・法人及び協業組織による機械購入費支援も併せて実施し本町農業の持続的発展を目指します。



## にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

### ■賃借型企業立地促進事業【新規】

現行の企業立地促進条例による補助は自己所有の施設整備を対象としており、多様な形態での企業進出を促進するため町内に工場等を有しない企業等が、新たに町内の空き物件を賃借し工場等を設置する場合及び、町内に既に工場等を有している企業等が事業拡大により新たに工場等を設置しようとする場合の賃借料を新たに補助対象とし、企業進出・事業拡大をサポートし地域の活性化を図ります。

## にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

### ■サテライトオフィス設置促進事業【新規】

本社から離れた場所にオフィスを構えるサテライト（衛星）オフィスが注目されていることから既存町内施設への「サテライトオフィス」設立誘致に取り組み、多様な働き方の提供と将来の企業進出による交流人口・関係人口の増加により地域の活性化を目指します。

## にぎわいのあるまちづくり〔観光の振興〕

### ■沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業【拡充】 24,104 千円

平成 30 年度から、町内に「点」として存在する豊かな自然、観光資源及び歴史的文化財といった地域資源の可能性調査に取り組んでおりますが、点在する地域資源をパッケージ化及び価値の再認識・磨き上げるとともに、地域資源を一体的に P R し周遊・滞在していただける仕組みづくりのため、昨年度は「点→線・面」とするため地域資源を繋ぐストーリーづくり及び体験プログラムの試行を実施しました。

子どもの時から沼田町の歴史や文化を体験を通じて学び本町の魅力に体験を通して再発見し、町民皆さんが誇りをもって「普段使いしている」地域ブランドを発信いただくことで関係人口・交流人口・体験人口の増加を促進するとともに「地域の稼ぐ力」を発揮し地域の活性化を図ります。

## にぎわいのあるまちづくり〔移住定住の促進〕

### ■ヤング世代移住促進家賃助成事業【拡充】 2,331 千円

移住希望者にとって住宅は重要な条件の一つですが、町営住宅は新しいものでも建築後 15 年以上が経過し、近年民間賃貸住宅の建設は進んでいますが、近隣に比べ家賃が高いことから若者世代を対象に民間賃貸住宅の家賃助成を実施し更なる移住定住の促進を図ります。



### ■孫ターン奨励事業【新規】 525 千円

孫（若い）世代に、祖父母が居住しており地域に溶け込みやすい本町への移住を促すことで、本町に縁のある孫世代移住の流れを作り出し高齢者の見守り充実と移住定住の促進を図ります。





## 希望を育むまちづくり



### ■奨学資金貸付制度【制度改正】

奨学資金の貸し付けを受けた方が町内で農業又は商工業後継者として就労した場合、返済免除（一部含む）の対象としておりましたが、新たに「町内に住所を有し、町内に事業所を有する企業に勤務する場合」も返済免除の対象とすることとし、将来の沼田町を担う人材の育成を図ります。

## 安心安全に暮らせるまちづくり

### ■高齢者交通安全対策助成事業

【新規】327千円

免許証の返納を検討する高齢者の経済的負担・移動負担の軽減を図ることにより安心・安全なまちづくりを進めます。

### ■生涯学習総合センター非常用

発電機整事業【新規】

昨年度から、避難所に非常用発電機の整備をし地域防災力の向上を図っておりますが、本年度につきましては生涯学習総合センター「ゆめっくる」に非常用発電機の整備を行います。

### ■スクールゾーン・キッズゾーンの

設定【新規】267千円

本町では、昨年、警察署等関係機関と合同で緊急の通学路安全点検を実施したところですが、新たに「スクールゾーン・キッズゾーン」を設定し、小学校及び認定こども園周辺を運行する運転手に対し安全運転を呼び掛ける「のぼり旗」を設置するとともに、関係機関と連携して重点的に啓発活動を行います。

### ■JR 留萌本線利用促進事業

【拡充】3,627千円

留萌本線は、通学・通院等住民の「足」として重要であるとともに、長年にわたって本町の中心となってきた存在であり本町のシンボルとして地域に根付いているとともに、従来の目的地に向かうための手段としてだけでなく「鉄道に乗る」行為自体を目的とする「観光」としての重要性も増してきています。

また、環境に優しい低炭素化社会の担い手・大量高速輸送の手段としても大きな存在感を示す等、地域の貴重な財産である「留萌本線」を応援する事業に継続して取り組みます。

